

# テルビナフィン錠125mg「ニプロ」 をお飲みになる患者さんへ

このお薬は、真菌（カビの一種）でおこる皮膚の深いところや爪にできる水虫などで、塗り薬では治療が困難な場合に使います。



このお薬を  
正しく飲んで、  
治療を続けていただく  
ために、必ずお読み  
ください。



このお薬をお飲みになる前に主治医の先生・  
薬剤師に必ず伝えてほしいこと。

- 以前、お薬を飲んで発疹、かゆみなどが  
出たことがある。



- 重い肝臓の病気がある。



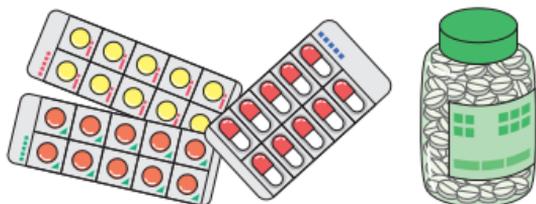
- 血液の病気がある。



- 妊娠中・妊娠している  
可能性がある / 授乳中  
である。



- 他のお薬を使用している（薬局で買ったお薬も含む）



なお、このお薬はある程度長期間にわたって飲んで  
いただくため、途中で他のお薬を飲む場合にも必ず  
主治医の先生・薬剤師にご相談ください。

他の病院にかかるときは、テルビナフィン錠を飲んで  
いることを医師または薬剤師に必ず伝えてくださ  
い。

## このお薬の飲み方

- 通常、成人は1回1錠を1日1回食後に服用しますが、年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- 飲むときは、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 飲み忘れた場合は気がついたときにできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が8時間以内の場合は、忘れた分は飲まないで1回分は飛ばして、次に通常の飲む時間がきたときに1回分を飲んでください。  
**絶対に2回分を一度に飲んではいけません。**
- 誤って多くの薬を飲んだとき、すぐに主治医の先生または薬剤師にご相談ください。

## この薬を飲んだあとに気をつけていただくこと（副作用）

### 消化器の症状

- ・ 胃のもたれ
- ・ 下痢
- ・ 腹痛
- ・ みぞおちの張る感じ
- ・ 食欲不振



### 皮膚や目の症状

- ・ 白目や皮膚が黄色い
- ・ 発疹
- ・ かゆみ
- ・ 皮下出血



### 筋肉痛などの症状

- ・ 筋肉の痛み
- ・ 関節痛



## かぜのような症状

- ・リンパ節の腫れ
- ・のどの痛み
- ・体がだるい
- ・発熱



## 頭痛やめまいなどの症状

- ・ふらつき
- ・頭痛
- ・めまい
- ・眠気



## 味覚の異常

- ・食べ物の味が苦くなる
- ・食べ物の味が分からない



このような症状に気づいたら、主治医の先生または薬剤師にご相談ください。

下記のような症状は、【○○】に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、このお薬を飲むのをやめて、すぐに主治医の先生の診察を受けてください。

食欲不振、体がだるい、白目や皮膚が黄色くなる。

【重篤な肝障害（肝不全、肝炎、胆汁うっ滞、黄疸など）】

かぜ様症状（発熱、のどの痛み）、出血がとまりにくい、めまい、耳鳴り、息切れ、動悸、青あざができる。

【汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少】

発熱、皮膚の発疹、水ぶくれ、眼の充血や唇・口内のあれ。

【中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性全身性発疹性膿疱症、紅皮症】

筋肉の痛み、脱力感、赤褐色尿。

【横紋筋融解症】

息苦しい、じんましん、眼と口唇のまわりの腫れ、意識がうすれる。

【ショック、アナフィラキシー】

発疹、発熱、リンパ節腫脹、さむけ、ふらつき。

【薬剤性過敏症症候群】

環状の赤い発疹、かさかさした角質を伴う赤い発疹。

【亜急性皮膚エリテマトーデス】

このほかにも、気になる症状が出た場合は、主治医の先生または薬剤師にご相談ください。

## このお薬を飲んだあとの定期的な検査

自分では気づかない副作用が発生していないかを確認するために、主治医の先生の指示を守って定期的に受診することが大切です。

このお薬を飲んでいる間は肝臓や血液の働きを調べる検査を定期的に行います。検査は、まずお薬を飲む前に行い、飲み始めてから2カ月間は月に1回、その後も定期的に検査する必要があります。

### テルビナフィン錠 125mg「ニプロ」 1回1錠、1日1回



## 検査日

飲み始めてから2カ月間は月に1回の検査を受けるためにご来院ください。

1回目(飲む前)	年	月	日
2回目(1カ月後)	年	月	日
3回目(2カ月後)	年	月	日
回目( )	年	月	日
回目( )	年	月	日
回目( )	年	月	日
回目( )	年	月	日

お薬の服用については主治医の指示を守ってお飲みください。

病・医院 / 薬局名

服用中にいつもと違うことがありましたら、すぐにご相談ください。

